

(参考)

国際バルク戦略港湾検討委員会

1. 目的

我が国の産業及び国民生活に欠かせない物資である資源、エネルギー、食糧等の国際バルク貨物の世界的な獲得競争が進展しているなか、大型船舶による一括大量輸送を可能とする港湾の「選択」と「集中」により、これら物資の安価かつ安定的な輸送を実現するため、対象とする品目を選定した上で、選択する港湾についての、評価項目、選定案の作成等の検討を行う委員会を設置する

2. 委員

<政府側>

長安 豊 国土交通大臣政務官

<委員>

赤木 聰之 (社)日本船主協会港湾物流専門委員
神田 正美 (株)三井物産戦略研究所地域活性化支援センター長
久保 昌三 (社)日本港運協会会長
黒田 勝彦 神戸大学名誉教授・神戸市立工業高等専門学校長
柴田 明夫 丸紅(株)丸紅経済研究所代表
根本 勝則 (社)日本経済団体連合会産業政策本部長
長谷川 雅行 (株)日通総合研究所顧問
松島 格也 京都大学准教授

3. スケジュール (案)

- 平成21年12月15日 第1回国際バルク戦略港湾検討委員会
穀物(とうもろこし・大豆)、鉄鉱石、石炭を検討対象とすることを合意
- 平成22年 6月 1日 国際バルク戦略港湾 公募
- 平成22年 8月 3日 計画書(目論見)締め切り
- 平成22年 8月以降 応募者によるプレゼンテーション(19, 20, 27日)
委員会から応募者あて意見送付
再プレゼンテーション
- 平成22年末頃 国際バルク戦略港湾 選定